



日本精工株式会社

2022年3月期

Q1決算説明会

2021年8月2日
代表執行役副社長・CFO
野上 宰門

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しています。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの
一定の前提に基づいて作成しています。従って、実際の業績は、様々な要因により
業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

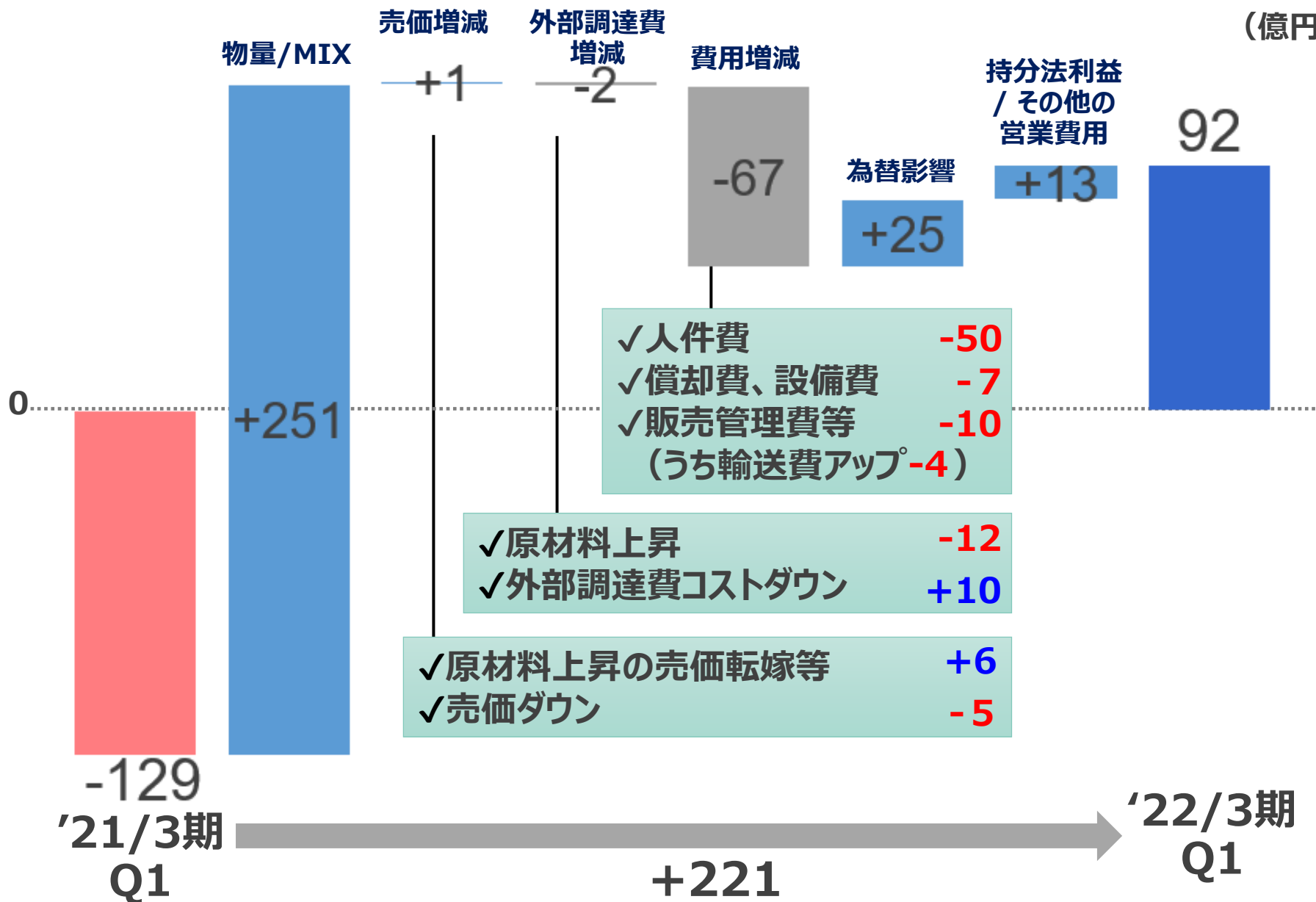
2022年3月期 Q1業績サマリー

(億円)	21/3期	22/3期		
	Q1 実績	Q1 実績	対前年同期比	
			増減額	伸び率
売上高	1,289	2,135	+846	+65.6%
営業利益	-129	92	+221	-
(営業利益率)	(-10.0%)	(4.3%)		
税引前利益	-125	95	+220	-
当期利益	-97	48	+145	-
(親会社所有者帰属)				
換算レート1USD	107.6	109.5	+1.9	+1.7%
// 1EUR	118.5	132.0	+13.5	+11.4%
// 1CNY	15.2	17.0	+1.8	+11.8%

- コロナ禍から回復 自動車事業を中心に大幅増収増益
- 円安進行も追い風

営業利益 増減内訳 ('21/3期Q1 ⇒ '22/3期Q1)

(億円)

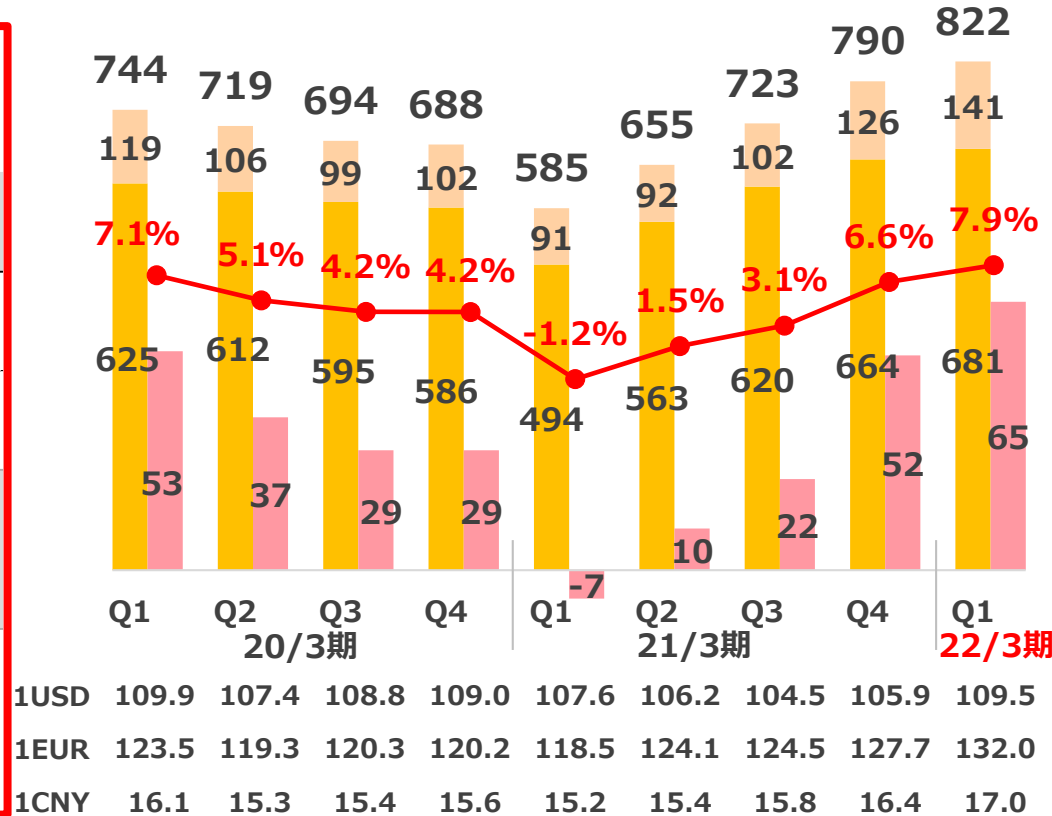


産業機械事業

(億円)

	21/3期 Q1実績	22/3期 Q1実績	対前期 増減額	対前期 伸び率
売上高	585	822	+237	+40.6%
産業機械 軸受	494	681	+188	+38.0%
精機製品	91	141	+50	+54.8%
セグメント利益	-7	65	+72	-
(対売上高 率)	(-1.2%)	(7.9%)		
換算レート1USD	107.6	109.5	+1.9	+1.7%
" 1EUR	118.5	132.0	+13.5	+11.4%
" 1CNY	15.2	17.0	+1.8	+11.8%

■ 産軸 ■ 精機 ■ セグメント利益 ● 利益率



● 前年度Q2以降、売上高および利益は堅調に推移

工作機械：中国EMS向け好調継続、自動車関連の設備投資も回復

半導体：活況な市場を背景に堅調を維持

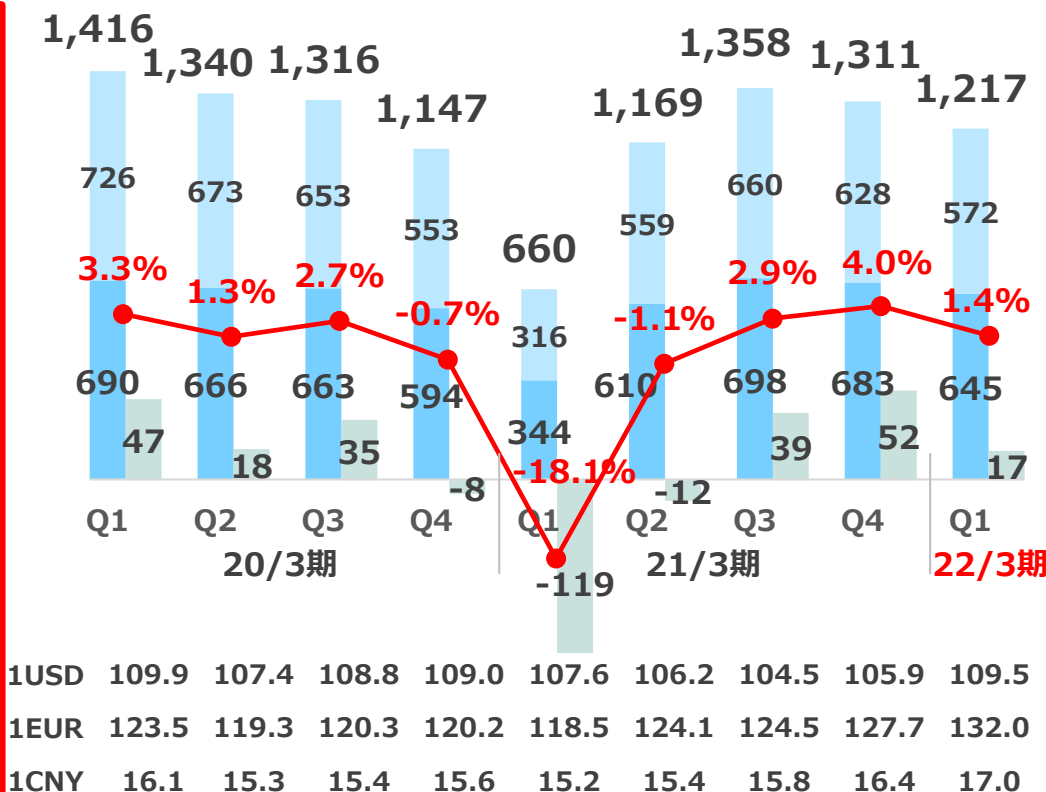
電機：家電・電動工具など巣ごもり需要が好調

自動車事業

(億円)

	21/3期 Q1実績	22/3期 Q1実績	対前期 増減額	対前期 伸び率
売上高	660	1,217	+558	+84.5%
自動車軸受	344	645	+302	+87.8%
自動車部品	316	572	+256	+81.0%
セグメント利益	-119	17	+136	-
(対売上高 率)	(-18.1%)	(1.4%)		
換算レート1USD	107.6	109.5	+1.9	+1.7%
” 1EUR	118.5	132.0	+13.5	+11.4%
” 1CNY	15.2	17.0	+1.8	+11.8%

■ 自軸 ■ 自部品 ■ セグメント利益 ● 利益率



- コロナ禍から回復し大幅増収 対前期 +85% (為替影響除き +77%)
グローバル自動車生産台数 対前期 +49% 日系OEMは+71%
- 半導体不足等の影響もあり、対FY20Q4では減収減益

2022年3月期業績予想の状況

5月11日発表の業績予想および配当計画を据え置き

- ✓ 売上高 8,600億円 営業利益 530億円（土地譲渡益97億円含む）
為替前提（米ドル 106円 ユーロ 124円 中国元 15.7円）
- ✓ 配当金 25円/株（中間10円/株、期末15円/株）

● 産業機械事業

- ▶ 工作機械向けを中心に旺盛な需要が継続する見通し。
増員含む供給体制の整備を継続、販売機会を最大化していく。

● 自動車事業

- ▶ 半導体不足等による減産影響は想定以上。
減産分の回復動向を注視し、生産・在庫をコントロールしていく。

● 原材料価格、輸送費用などのコスト上昇リスクの拡大

- ▶ 業績予想に織り込んだ前提よりもコストアップ傾向。
さらなる売価転嫁交渉と生産性改善で吸収していく。

● 国内外におけるCOVID-19感染再拡大のリスク

- ▶ アジア地域の感染状況を注視。感染対策の徹底を継続。

(補足資料)

補足. 事業セグメント別業績

(億円)		21/3期	22/3期		22/3期予想			
		Q1	Q1	増減額	伸び率	前半	後半	通期
合計	売上高	1,289	2,135	+846	+65.6%	4,250	4,350	8,600
	セグメント利益	-125	93	+219	-	185	255	440
	(対売上高率)	(-9.7%)	(4.4%)			(4.4%)	(5.9%)	(5.1%)
	営業利益	-129	92	+221	-	180	350	530
	(営業利益率)	(-10.0%)	(4.3%)			(4.2%)	(8.0%)	(6.2%)
産業機械事業	売上高	585	822	+237	+40.6%	1,530	1,590	3,120
	産業機械軸受	494	681	+188	+38.0%	1,270	1,320	2,590
	精機製品	91	141	+50	+54.8%	260	270	530
	セグメント利益	-7	65	+72	-	120	150	270
	(対売上高率)	(-1.2%)	(7.9%)			(7.8%)	(9.4%)	(8.7%)
自動車事業	売上高	660	1,217	+558	+84.5%	2,570	2,630	5,200
	自動車軸受	344	645	+302	+87.8%	1,350	1,400	2,750
	自動車部品	316	572	+256	+81.0%	1,220	1,230	2,450
	セグメント利益	-119	17	+136	-	50	90	140
	(対売上高率)	(-18.1%)	(1.4%)			(1.9%)	(3.4%)	(2.7%)
その他	売上高	88	152	+63	+71.7%	265	265	530
	セグメント利益	0	10	+10	-	15	15	30
	(対売上高率)	(0.1%)	(6.9%)			(5.7%)	(5.7%)	(5.7%)
売上高消去		-44	-56	-13	-	-115	-135	-250
その他の営業損益/調整額		-3	-1	+2	-	-5	95	90

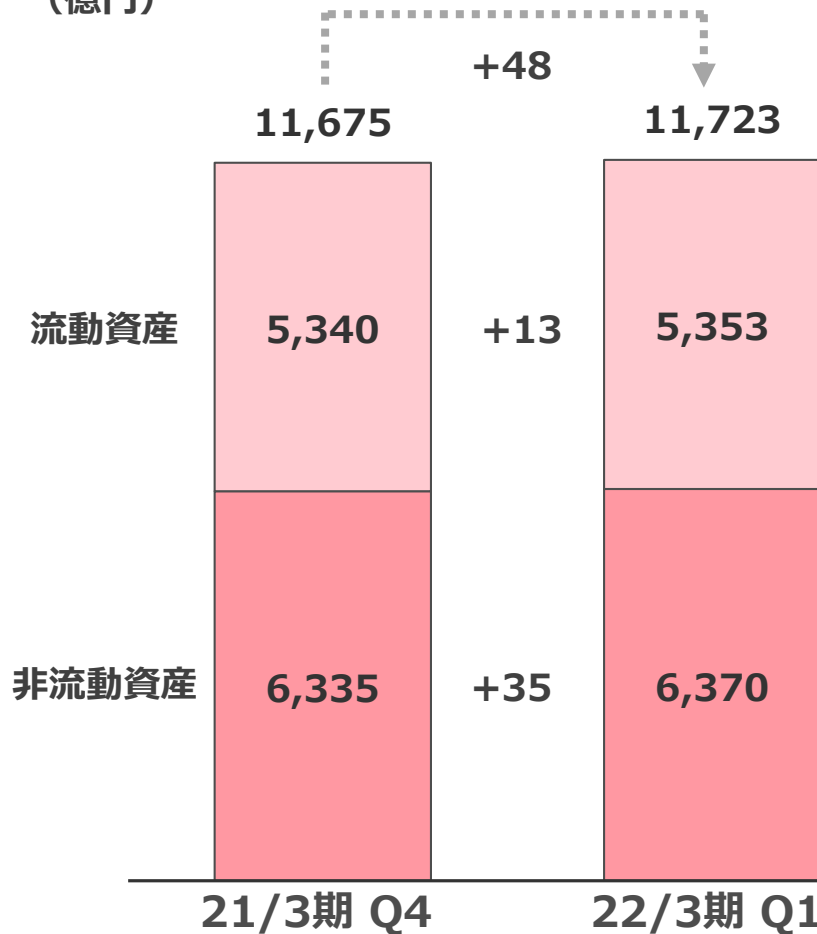
補足. 顧客地域別売上高

(億円)	21/3期 Q1	22/3期 Q1	増減額	伸び率
売上高	1,289	2,135	+846	+65.6%
日本	467	802	+335	+71.7%
海外合計	822	1,332	+511	+62.2%
(海外比率)	(63.7%)	(62.4%)		
米州	153	306	+153	+100.3%
欧州	149	277	+129	+86.4%
中国	377	441	+64	+17.0%
その他アジア	143	308	+165	+115.1%
換算レート				
1USD	107.6	109.5	+1.9	+1.7%
1EUR	118.5	132.0	+13.5	+11.4%
1CNY	15.2	17.0	+1.8	+11.8%

補足. 財政状態

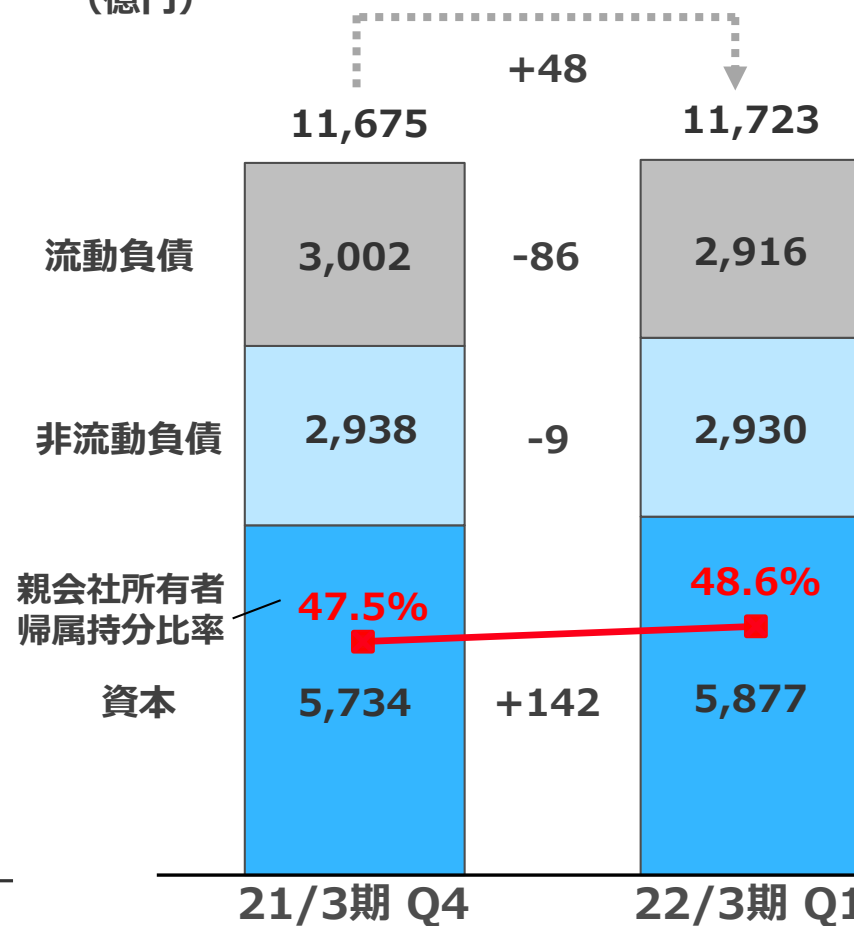
資産

(億円)



負債/資本

(億円)



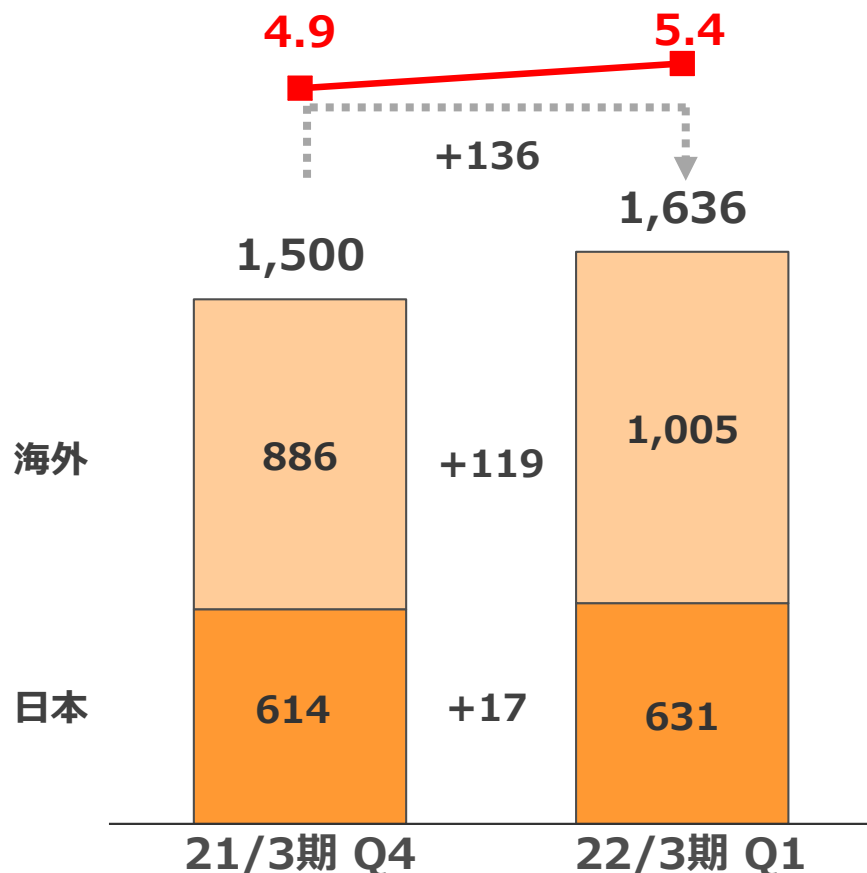
換算レート	21/3期Q4末	22/3期Q1末
1USD	110.7	110.6
1EUR	129.8	131.6
1CNY	16.9	17.1

補足. 棚卸資産/有利子負債

棚卸資産

(億円)

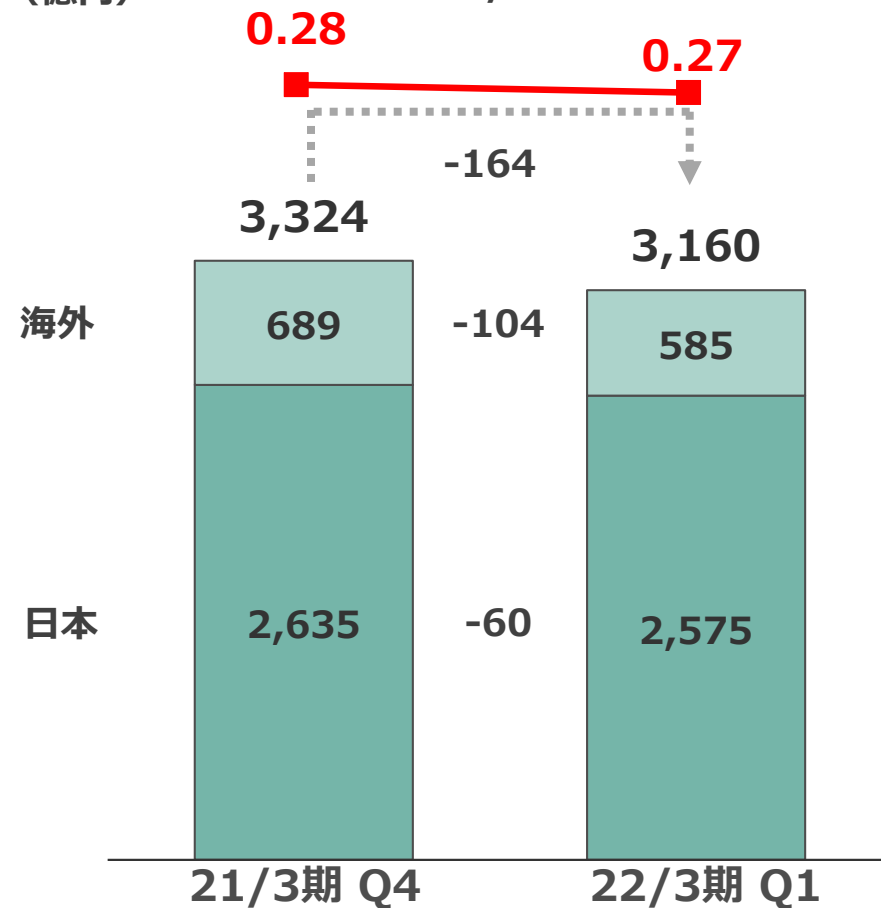
棚卸資産回転数



有利子負債

(億円)

Net D/Eレシオ



換算レート	21/3期Q4末	22/3期Q1末
1USD	110.7	110.6
1EUR	129.8	131.6
1CNY	16.9	17.1

補足. 設備投資額/減価償却費/研究開発費

(億円)	21/3期	22/3期	
	通期実績	Q1実績	通期予想
設備投資額	373	52	510
設備投資額 (リース除く)	341	46	510
減価償却費	545	139	550
減価償却費 (リース除く)	500	128	505
研究開発費 (制度決算ベース)	168	44	170
参考) 技術関連費用	286	74	300



NSKの企業理念

NSK は、MOTION & CONTROL™ を通じ、
円滑で安全な社会に貢献し、
地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、
国を越えた人と人の結びつきを強めます。

NSKビジョン2026

あたらしい動きをつくる。

あらたなライフスタイルを生み出し、笑顔あふれる 明日 を実現するための、
次の「動き」をつくる。

社会のニーズをいち早く発掘し、世界中の期待を超える、
誰も想像できなかった「動き」をカタチにする。

私たちが未来を動かしていく。